

会計情報とビジネス言語の視点

藤本 孝一郎

はじめに

近年、財務会計の分野では世界各国の会計基準の多様性の問題からコンバージェンス (convergence) の必要性が唱えられ、財務会計の概念フレームワーク (framework) の検討が始まっている。制度会計の基盤にある理論・公理・概念の要約作業であり概念書として国際間の合意を目的としている。また本来的に、会計情報は資本運動過程の記述と情報交換という、いわばビジネスを表現する言語的機能を担っている。ビジネス現象の理論的意味を常に問う役割を有している。このような点で現在、進行している国際会計基準 (IFRS: International Financial Reporting Standards) の意義をとらえなおすと興味深い視点が得られる。

1. 国際会計基準と電子情報開示

我が国では、企業会計基準委員会 (ASBJ) との国際会計基準審議会 (IASB) の合意以降、会計基準のコンバージェンスの動きが加速した。2006年の「会計基準のコンバージェンスに向けて (意見書)」の公表後、欧州連合 (EU) との作業も視野に入れ、IASB との間で IFRS とのコンバージェンスの取組みに係る「東京合意」に至った。^[注1] 2009年には企業会計審議会によって「我が国における国際会計基準の取扱いについて (中間報告)」(以下、「中間報告」) が公表された。

本稿では我が国における IFRS の適用に向けた課題と取組みの内、「中間報告」の叙述に沿って電子情報開示システムをめぐる論点を新しい視点から検討した。

2. 国際会計基準と電子情報開示システム

2.1 IFRS 適用に向けた課題

我が国における円滑な IFRS 適用のためには実務側の対応が必要である。具体的な実施のため、実務の取組が準備されねばならない。準備に関する各種の課題に対する関係者の積極的な取組みが期待される。

会計基準は、実際に作成・監査・分析・当局による監視の各段階において適切な実務が行われ、利害関係者に対して適切な財務報告が届けられて初めてその機能を十全に発揮したことになる。

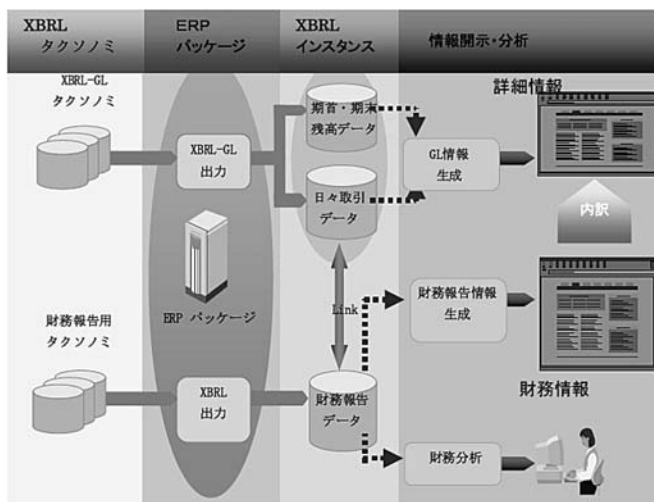
従って IFRS が、我が国の商慣行、企業の実態を適切に反映している必要がある。また IFRS が、グローバルな金融資本市場の状況を配慮した適切な基準とされていることも必要である。特に現在では金融市場を支えるには ICT (information Communication Technology) の高度化が必須である。そのため「中間報告」でも、ディスクロージャを支える課題の一つに、電子情報開示システムとの関係を探りあげている。

2.2 電子情報開示システム

近年、企業の財務情報を WEB 上で取り扱う国際標準言語が、基盤整備を経て徐々に普及し始めている。それを XBRL (eXtensible Business Reporting Language, 拡張可能なビジネス・レポーティング言語) と呼称する。我が国の導入例は、国税庁の e-TAX (税務申告) を初めに、東京証券取引所での T Dnet (企業開示情報)、金融庁の EDINET (決算情報) がある。また米国でも証券取引委員会 (SEC) により導入が進み、政府部門でも一部、実用化されている。世界で注目されている XML 技術の一つとなっている。

XBRL は当初、財務会計上の開示情報を表現するための規約として開発されてきた。国際的な会計基準統一の目的を持ち、各国企業の財務諸表の比較可能性の向上、財務分析に XBRL が最適な財務情報となりえることを志向している。

図 1 : XBRL システムの概要



(資料「XBRL Japan FACT BOOK 2007年」)

3. 電子情報開示システム

3.1 ディスクロージャ情報と XBRL

XBRLは、特定のソフトウェアやプラットフォームに依存しない言語であり、プラットフォームに関係なく財務情報の作成や流通・再利用を可能にする。入力時点でXBRLシステムを特に意識しなくても利用可能である。さらに利用者の便宜を考え、各ベンダーによるXBRL変換ソフトウェアも比較的安価な利用が期待できる。XBRLでは、公開会社、非公開会社、会計専門家、監督機関、アナリスト、投資家、資本市場参加者、ソフトウェア会社、情報提供会社などの利害関係者を想定している。財務情報のいわばサプライチェーン (supply chain) に関係するすべての当事者に、財務情報提供のためのコストを削減させ、正確な財務情報をよりスピーディーに利用させることを可能にする。

我が国においては、同一データ形式による企業間又は経年での比較可能性の確保、投資情報の活用の利便性の観点から、既にXBRL形式（国際的に標準化された財務報告等に使用されるコンピュータ言語）により作成された財務諸表を開示することとなっている。

3.2 XBRLのIFRSへの対応

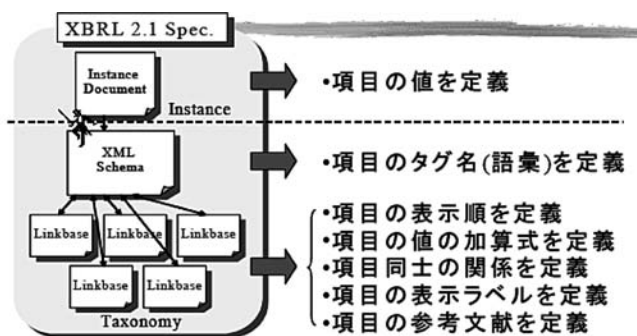
電子情報開示システムとしてIFRSを適用する場合、IFRSに基づく財務諸表がXBRL形式により開示可能となることが必要である。そこで国際会計基準財団では、IFRS対応のXBRL用データ形式（タクソノミ）を開発している。

タクソノミ (Taxonomy) は文書として、タクソノミスキーマ (XML Schema) とリンクベース (XLink) とで、インスタンス文書の内容・構造・扱われ方などを定義する。その内容は財務情報を記載するために必要な勘定科目名 (ラベル) の定義、各情報の表示順・処理順の記述である。各国の会計制度に対応したタクソノミ文書に加え、業種などで共通化されたタクソノミ文書を利用する。また自社独自の情報については、自社タクソノミ文書を作成する必要がある。

しかし国際会計基準財団がタクソノミに用意した開示項目数は、我が国の項目数に比べて著しく少ない状況である。さらに日本語非対応等、我が国の電子情報開示システム (EDINET) に適合してない。

「中間報告」では、IFRS適用後においても、投資者への開示水準が後退することのないようIFRS対応のタクソノミの項目数の国際的な環境整備を求めている。このため、我が国における任意適用開始時を一つの目途に、EDINET向けのタクソノミ等の開発を行い、将来のIFRSの強制適用に備えて実務で導入できる状況が必要である。ここでIFRSは電子情報開示においてタクソノミという会計上の意味を扱う技術を要素として持つことがわかる。

図 2 : XBRL のデータ構造



(資料「XBRL Japan FACT BOOK 9」2007年)

3.3 会計基準と IFRS

会計情報は、企業等の利害関係者のために、経営成績や財政状態などの測定・報告のための情報である。企業と利害関係者との間でやりとりされる開示情報は、経済社会の発展とともに利用が拡大してゆく。いわば「社会的な情報」という性質を有し、このため会計基準は社会的に規定される。会計情報は各国や各時代の会計基準に依拠し発展してきた。また会計情報の信頼性は金融・資本市場や資源の効率的配分、投資家をはじめとする利害関係者の行動に大きく影響する。このように会計情報は主としてビジネス現象の理論的意味を常に問う役割を持つとともに社会的な情報という意義を持つものといえる。

ところで XBRL には、本来的にタクソノミ文書という項目・数字の意味を問う要素を内在している。さらに情報科学の視点から、会計情報が XBRL というプラットフォームを得れば、新たなビジネスを表現する言語（セマンティック (semántic)・デジタル会計情報）ととらえることも可能である。さらに IFRS による電子情報開示システムの進展は、会計情報を国際的な通有性を持つビジネス言語にする飛躍の可能性を有していると考えられる。このような視点で「中間報告」の IFRS による電子情報開示システムは、国際的な会計情報交換の共通語作りという意義がある。

IFRS の今後の我が国実務での準備・導入。促進には、情報の意味を扱うシステムであることを考えれば、ICT の高度化に支えられた電子情報開示システムの実現が必要である。

おわりに

会計情報は、ICT の進展に加え IFRS の導入により、国際的なビジネス情報インフラ (infrastructure) としてのビジネス言語の様相を示していくように考えられる。今後も、財務情報に関わる Web 技術を探求し、IFRS の進展過程を考察してゆきたい。

【注】

1. 「東京合意」の内容は次のとおり。① EU の同等性評価における重要な差異（26項目）について、原則、2008年中に解消する。②同等性評価における重要な差異以外の既存の差異については、2011年6月末までに解消する。③現在、IASB が検討中の会計基準のうち、2011年6月末以降に適用される会計基準は、その新基準適用時に我が国において国際的なアプローチが受け入れられるよう作業を行う。

【参考文献】

- [1] 日経 BP 国際会計基準プロジェクト編「国際会計基準 IFRS 完全ガイド」日経 BP 出版センター（2009）
- [2] 「XBRL Japan FACT BOOK 9（2007年版）」：<http://www.xbrl-jp.org>
- [3] 河崎 照行編著「電子情報開示のフロンティア」中央経済社（2007）
- [4] 税務経理協会編「会計緒則集増補7訂版」税務経理協会（2008）
(WWW) 金融庁 <http://www.fsa.go.jp/>